

平成 25 年度 広島大学医学部 FD

「卒業前に行う臨床能力の評価」

背景：:学生が卒業にふさわしい能力を身につけたかどうかを確かめる在学中最後の試験として卒業試験が行われますが、その内容は学科試験であり、知識の確認しか行えません。5・6年次には、医学生が医師として巣立つうえで不可欠な能力（知識、技能のみならず、責任感、患者への共感と配慮、協調性など）を身につけることを目的として臨床実習が行われますが、その成果を学科試験で評価することは困難です。広島大学ではこれまで、4年次で行う共用試験OSCEと同様の試験を、卒業OSCEとして卒業試験の1科目として行ってきました。卒業前のOSCEは全国80大学中50大学で行われていますが、その試験方法はさまざまであり、各大学とも学生の臨床能力をより正確に評価するためにさまざまな努力・工夫を重ねています。当大学でも、よりよい試験形式を求めて、検討を行うことが必要と思われま

目的： 卒業前のOSCEについて、その意義を再確認し、他大学の試験の実情を知ること、また、米国の医師国家試験で行われている実技試験の試験形式を理解し、当大学へ導入した場合の利点、問題点などを参加者で共に考えることを目的とします。

方法： 前半の30分で、卒業前OSCEに関する一般的な説明、全国の他大学の現状、米国の医師国家試験での実技試験（USMLE step2 CS）の概要に関する説明を医学教育センターより行います。後半の30分では、USMLE step2 CSに準じた試験形式を紹介したビデオを上映し、この試験形式への理解を深めていただき、その後、当大学の試験形式について総合討論を行う予定です。

対象： 医学部医学科で臨床実習を担当するすべての診療科の教員および関係者

日時・場所： 平成 25 年 10 月 3 日（木）18：00～（約1時間20分）

臨床講義棟 1F 第4講義室（下図参照）

